

園芸療法課程 新カリキュラム(2019年度～)

園芸療法課程新カリキュラムでは、授業内容を精選して通学制の場合、月2回(1年目)の受講で園芸療法士(兵庫県知事認定)の資格が取れるようになりました。従来の医療・福祉・教育の分野にとどまらず、地域社会における児童から成人・高齢者まで広範囲の人を対象に“植物の癒しの力”を活用できるプロを養成します。

- ・2019年度から始まる園芸療法課程(全寮制:1年間・通学制:2年間)新カリキュラムでは、園芸療法、園芸、医療・福祉分野について約250時間学習します。この他に、園芸療法実習を計500時間行います。
- ・すべての科目を履修して試験(課題提出等含む)に合格すると、兵庫県園芸療法士の資格が授与されます。なお、*のついた科目は、応用科目のため通学制では2年目に学習します。
- ・通学制では、1年目の科目をすべて履修して試験(課題提出等含む)に合格すると、兵庫県園芸療法士補の資格が授与されます。

分野	科目名	回数 (90分/回)	ねらい	学習内容(例)
園 芸 療 法	みどりと健康	15	園芸療法実践の基礎となる植物や園芸の使い方、園芸と健康の関係についての基礎知識と理論を学ぶ。	園芸療法の倫理、ストレスのしくみ、園芸療法から見た植物の特性、毒性のある植物、園芸作業の特性、園芸作業の分解・分析方法、園芸療法5つの癒し、園芸療法基礎理論と重要エビデンス、園芸療法の基礎となる脳科学、園芸療法とマインド・フルネス
	対象理解とみどりの活用	15	園芸療法の対象となる人の健康上の課題のとらえ方(アセスメント)や、健康上の課題に応じて適切に植物や園芸を活用する行うための力を養う。	園芸療法の手順、対象者の健康状態・健康課題の理解(アセスメント)、健康課題に応じた“みどり”の活用、園芸療法における評価の手法
	園芸療法研究法*	15	園芸療法の実践や研究の基礎となるデータや報告書のまとめ方を学び、プレゼンテーション力を養う。	データのまとめ方、図表作成、統計処理、プレゼンのしかた、事例報告の書き方
	園芸療法演習*	15	園芸療法の実践事例を題材にして、問題解決能力を養う。	園芸療法実践場面における課題解決法の検討、園芸療法の実例検討
	マーケティングとマネジメント*	15	園芸療法の新しいマーケット開拓について考える力と、園芸療法のマネジメントに必要な力を養う。	マーケティングの基礎理論・実践事例、園芸療法実施施設を想定した園芸療法(集団対象)の年間プログラムと予算計画作成
小計		75	112.5時間	

園 芸	園芸と環境	15	植物を栽培する環境に関する知識と、心身の健康改善に効果的な環境の創造に必要な知識を学ぶ。	気象環境・土壌環境・生物環境、人を癒やす空間創造の基礎理論とエビデンス、園芸療法を実践する施設の環境改善計画作成
	ガーデニング	30	園芸療法で用いる草花・野菜の栽培管理についての基礎的な知識と技術を身につけ、園芸作業が人に与える心理・身体的効果などについて考える力を養う。	花壇用草花・観葉植物・ハーブ・野菜などの栽培知識・管理技術、園芸作業と健康の関係
	植物利用	15	園芸療法の対象となる人の特性(心理・精神・身体・社会性など)を考慮して植物を利用する知識や技術を身につける。	色彩の基礎理論、園芸療法における創造活動の基礎理論と演習、ハーブの利用
小計		60	90時間	

医 療 ・ 福 祉	園芸療法のための医療・医学	30	園芸療法の対象となる人に多い疾患とその患者の生活や心理を理解し、園芸療法士として適切なケアができる力を身につける。	医療・福祉の倫理、安全管理、感染予防、医療・福祉用語、疾患や薬品の調べ方、カルテの見方、病院・社会福祉施設の種類と職種、社会資源の活用、生活習慣病、認知症、うつ病、統合失調症、発達障害、知的障害、精神障害、身体障害、障害疑似体験、認知症ケアの理論・技術
小計		30	45時間	
合計		165	247.5時間	

(時間)

園 芸 療 法 実 習	園芸療法実習Ⅰ	80	園芸療法対象者の疾患・生活・心理などについて、実践(観察・プログラム計画・実践・ボランティア活動など)を通して基礎的な理解を深める。	通学制:ボランティア活動・園芸療法実践の見学・アセスメント基本演習 全寮制:高齢者・知的障害者などを対象とした園芸療法実践・アセスメント基本演習
	園芸療法実習Ⅱ*	120	園芸療法対象者についてアセスメントができ、健康状態にもとづいた園芸療法計画を立案・発表できる力を身につける。	全寮制・通学制共通: 園芸療法対象者のアセスメント(課題発見・目標設定・評価方法選定・園芸療法計画)、発表、報告書作成
	園芸療法実習Ⅲ*	300	立案した園芸療法計画をもとに園芸療法を実践し、実践結果について評価、まとめ、発表ができる力を身につける。	全寮制・通学制共通: 園芸療法活動計画の作成・実施・評価、園芸活動のまとめ、発表、報告書作成

500

補足 本カリキュラムは、日本園芸療法学会の登録園芸療法士認定試験の受験資格を満たしています。